

ジュニア陶芸 開催

昨年度より新たに取組みを始めたジュニア陶芸。対象は小学校4年生から中学校3年生までとし、彦根市広報などで広く募集をかけました。午前の部と午後の部に分け、令和5年度の自主事業第一弾として、4月8日（土）に実施しました。

自然の家で実施している手ひねり成形の工程の一端を体験することをねらいとしました。事前に切り分けた粘土（約800グラム程度）を使って手回しろくろで作品を作り上げていきます。注意点や成形の説明を受け、いよいよ開始です。活動の中心となる研修棟2階の部屋は、主として陶芸関係で使用する部屋に割り当てており、さまざま



な陶芸関連の作業工程を行っている部屋でもあります。陶芸の流れは、成形→仕上げ→乾燥→素焼き→釉薬かけ→本焼き→完成となり、そのうち、成形の工程を行います。

粘土は焼くと収縮するので想定している大きさより約2cm程大きく作るとよいということを聞き、さてそれから何を作るのかを考え始めました。何を作ってもよいと言われるとなかなか思いつかないもので、しばらく考え込んでしまいました。ここで図工や美術の時間に学んだことが生きてきました。実際に作る物がはっきりしていくと思い思いの器の大きさをイメージしてから器作りに入りました。まず、手回しろくろの中心に粘土を置き、粘土を均一で平らにするために手のひらでたたきます。はじめはなかなか思うようにいかなかつたけれど、何度かやり続け時間がたつにつれ上手に平らにすることができます。



そして、手回しろくろを回し、回っている向きに針先を向け軽く線だけを入れた後、線にそって針で切り取っていきます。力の加減が難しそうですが、指を上手に使い丁寧に作業ができました。土台ができたらそこに水を軽く塗

りつけ、紐状にした粘土を置き、土台の粘土と紐状粘土を指で押しつけ形を作ります。つけた後のつなぎ目の線が内側や外側にあるので、指でなでて丁寧に

消す作業へと続きます。手回しろくろで粘土を積み上げるときに粘土に空気が入ったり、しっかりくっついていないと破裂して壊れたり、持ったときにとれてしまったりすると聞いて慎重にまた、力を込めて仕上げていきました。

はじめはおぼつかない手つきや手さばきでしたが、だんだんと手慣れた様子になり、テキパキと作業をこなすことができました。一つ一つの工程を丁寧にそして美しくしていこうという姿勢に所員も感動していました。目指す大きさになるまで、繰り返し紐状粘土を積み上げていきます。なかなかこの作業が大変で、すこし指の形や方向が違うと形がゆがんでしまうので、時間をかけ様子を見ながらじっくりと作業をしました。最後に形を整えて完成。

この後、800度で素焼きをした後に、希望した色の釉薬をつけて1230度で本焼きをします。完成が楽しみです。なお、完成した作品は、自然の家から作られた方に連絡をして後日引き取りに来ていただきます。和やかな雰囲気の中で自主事業が終わりました。今回参加したジュニアの方々は、陶芸に関心があり何か作ってみたいということで参加したということでした。参加してくれたジュニアの方々は、きっと陶器ができあがるのを心待ちにされていることでしょう。お疲れ様でした。

自然の家では、陶芸体験を深化させるためにさまざまな取組みを考え展開しております。陶芸作品作りにチャレンジしてみませんか。

所員一同、皆様のおいでを心待ちにしております。

